



2010年3月期第2四半期 決算プレゼンテーション

平成21年11月16日
加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)
〒101-8629 東京都千代田区外神田3-12-8
TEL:03-4455-3131
FAX:03-3254-7133
<http://www.taxan.co.jp>

2010年3月期 第2四半期 決算ハイライト

2010年3月期 第2四半期 決算ハイライト

連結損益計算書の業績比較

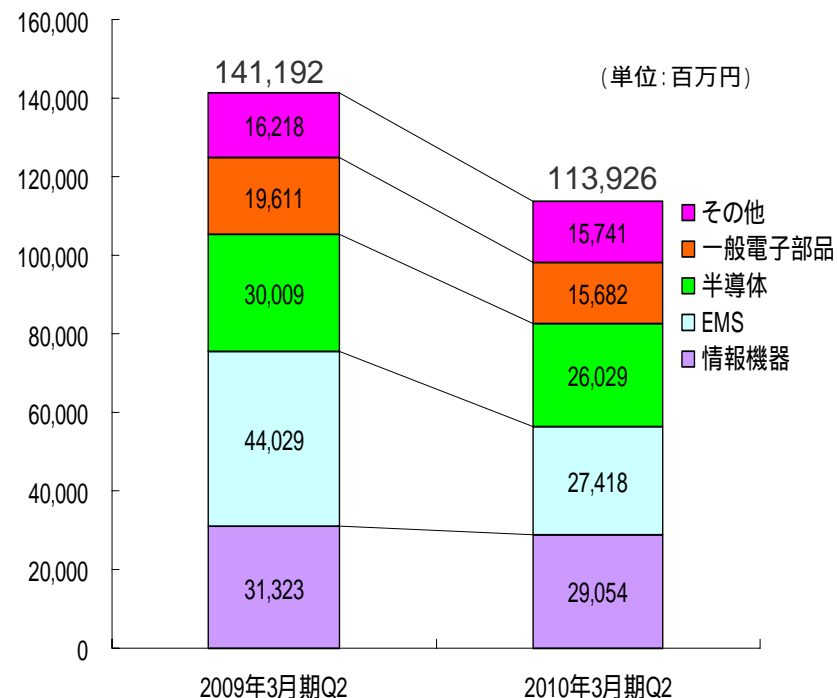
(単位:百万円)

	2009年3月期Q2		2010年3月期Q2		増減	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
売上高	141,192	100.0%	113,926	100.0%	-27,266	-19.3%
売上原価	124,297	88.0%	100,265	88.0%	-24,032	-19.3%
売上総利益	16,895	12.0%	13,661	12.0%	-3,234	-19.1%
販売費及び一般管理費	13,670	9.7%	13,293	11.7%	-377	-2.8%
営業利益	3,224	2.3%	367	0.3%	-2,857	-88.6%
営業外収益	404	0.3%	363	0.3%	-41	-10.1%
営業外費用	185	0.1%	529	0.5%	344	185.9%
経常利益	3,444	2.4%	201	0.2%	-3,243	-94.2%
特別損益	-1,021	-0.7%	-194	-0.2%	827	-
税金等調整前当期純利益	2,423	1.7%	8	0.0%	-2,415	-99.7%
法人税及び住民税	1,680	1.2%	620	0.5%	-1,060	-63.1%
法人税等調整額	-191	-0.14%	370	0.32%	561	-
少数株主利益	-18	-0.01%	-50	-0.04%	-32	-
当期純利益	952	0.7%	-931	-0.8%	-1,883	-

連結商品分類別売上高実績（2009年3月期Q2及び2010年3月期Q2）比較

（単位：百万円）

	2009年3月期Q2		2010年3月期Q2		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
情報機器	31,323	22.2%	29,054	25.5%	-2,269	-7.2%
EMS	44,029	31.1%	27,418	24.1%	-16,611	-37.7%
半導体	30,009	21.3%	26,029	22.8%	-3,980	-13.3%
一般電子部品	19,611	13.9%	15,682	13.8%	-3,929	-20.0%
その他	16,218	11.5%	15,741	13.8%	-477	-2.9%
計	141,192	100.0%	113,926	100.0%	-27,266	-19.3%



主な増減のポイント

「EMS」売上高：前年同期比 - 16,611百万円(37.7%減)

国内における遊技機器メーカー向け液晶ユニットや、海外における日系事務機器メーカーや日系空調機メーカー向け電子基板などのEMS事業が取引先の生産調整などのため大幅に減少いたしました。その結果、売上高は27,418百万円(前年同期比16,611百万円減)となりました。

「半導体」売上高：前年同期比 - 3,980百万円(13.3%減)

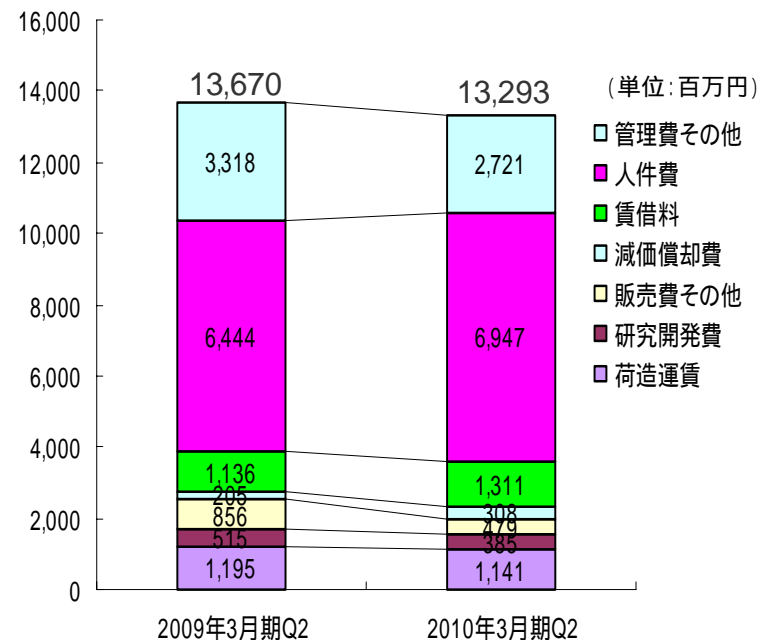
デジタルAV機器メーカー向け信号変換ICや遊技機器メーカー向け画像処理ICなどの取扱高が減少いたしました。その結果、売上高は26,029百万円(前年同期比3,980百万円減)となりました。

・ 販売管理費の状況（2009年3月期Q2及び2010年3月期Q2）

販売管理費増減比較表

(単位:百万円)

	2009年3月期Q2		2010年3月期Q2		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減比
荷造運賃	1,195	8.7%	1,141	8.6%	-54	-4.5%
研究開発費	515	3.8%	385	2.9%	-130	-25.2%
その他	856	6.3%	479	3.6%	-377	-44.0%
販売費計	2,566	18.8%	2,005	15.1%	-561	-21.9%
減価償却費	205	1.5%	308	2.3%	103	50.2%
賃借料	1,136	8.3%	1,311	9.9%	175	15.4%
人件費	6,444	47.1%	6,947	52.3%	503	7.8%
その他	3,318	24.3%	2,721	20.5%	-597	-18.0%
管理費計	11,103	81.2%	11,287	84.9%	184	1.7%
販管費合計	13,670	100.0%	13,293	100.0%	-377	-2.8%



主な増減のポイント

販売費: 研究開発費・エスアイエレクトロニクス(株)の開発費が減少したことにより、130百万円減少いたしました。

管理費: 人件費 前期比503百万円増加。社員数:前期比63名減少(5,205名 5,142名)
 増加要因:エー・ディ・エム社等の国内新規連結グループ会社の人員増加のため。
 減少要因:海外工場の集約により工員の人員が減少したため。

2010年3月期決算ハイライト

連結貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

	09年3月期 期末	10年3月期 Q2	増減
(資産の部)	117,251	106,764	-10,487
流動資産	99,639	88,449	-11,190
現金及び預金	11,378	11,491	113
受取手形・売掛金	61,053	53,754	-7,299
商品及び製品	13,969	12,789	-1,180
仕掛品	577	816	239
原材料及び貯蔵品	3,749	2,896	-853
その他	8,913	6,703	-2,210
固定資産	17,612	18,314	702
有形固定資産	6,168	6,660	492
無形固定資産	1,914	1,757	-157
投資等	9,528	9,896	368
資産合計	117,251	106,764	-10,487

	09年3月期 期末	10年3月期 Q2	増減
(負債の部)	67,690	58,476	-9,214
流動負債	60,521	51,523	-8,998
支払手形・買掛金	44,772	37,679	-7,093
短期借入金	9,291	8,508	-783
その他	6,458	5,336	-1,122
固定負債	7,168	6,953	-215
長期借入金	3,620	3,050	-570
その他	3,548	3,903	355
(純資産の部)	49,560	48,288	-1,272
株主資本			
資本金	12,133	12,133	0
資本剰余金	13,912	13,912	0
利益剰余金	25,158	23,813	-1,345
自己株式	-1,331	-1,333	-2
評価・換算差額	-2,103	-1,946	157
少数株主持分	1,790	1,709	-81
負債・純資産合計	117,251	106,764	-10,487

連結キャッシュフロー計算書(2009年3月期末及び2010年3月期Q2)の比較

(単位:百万円)

	2009年3月期 Q2	2010年3月期 Q2	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	3,806	3,936	130
投資活動によるキャッシュフロー	-2,568	-2,093	475
財務活動によるキャッシュフロー	-1,111	-1,655	-544
現金等に関わる換算差額	-147	-64	83
現金等の減少額	-20	122	142
現金等の期首残高	14,011	11,368	-2,643
現金等の期末残高	13,990	11,491	-525

主な増減のポイント

営業活動によるキャッシュフロー:主に売上債権の減少により、3,936百万円の資金獲得となりました。

投資活動によるキャッシュフロー:有形固定資産の取得などにより2,093百万円の資金使用となりました。

財務活動によるキャッシュフロー:短期借入金の減少などにより、1,655百万円の資金使用となりました。

2010年3月期 決算予想

連結損益計算書の計画比較（2009年3月期及び2010年3月期計画）

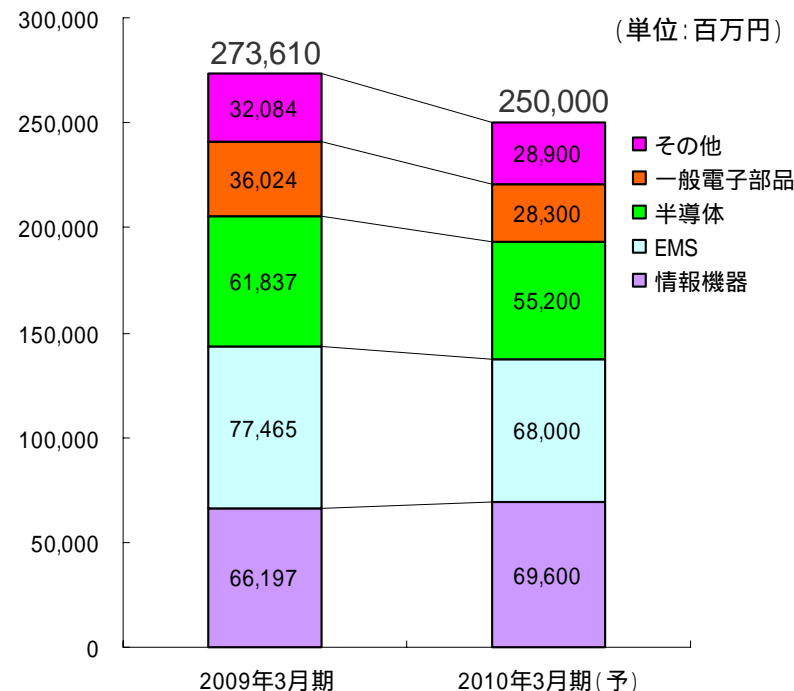
（単位：百万円）

	2009年3月期(実績)		2010年3月期(計画)		増減	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
売上高	273,610	100.0%	250,000	100.0%	-23,610	-8.6%
売上原価	243,226	88.9%	220,500	88.2%	-22,726	-9.3%
売上総利益	30,383	11.1%	29,500	11.8%	-883	-2.9%
販売費及び一般管理費	28,134	10.3%	27,900	11.2%	-234	-0.8%
営業利益	2,249	0.8%	1,600	0.6%	-649	-28.9%
営業外損益	-42	-0.02%	400	0.2%	442	-
経常利益	2,208	0.8%	2,000	0.8%	-208	-9.4%
当期純利益	-806	-0.3%	300	0.1%	1,106	-

連結商品分類別売上高予想（2009年3月期及び2010年3月期計画）比較

(単位:百万円)

	2009年3月期		2010年3月期(予)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
情報機器	66,197	24.2%	69,600	27.8%	3,403	5.1%
EMS	77,465	28.3%	68,000	27.2%	-9,465	-12.2%
半導体	61,837	22.6%	55,200	22.1%	-6,637	-10.7%
一般電子部品	36,024	13.2%	28,300	11.3%	-7,724	-21.4%
その他	32,084	11.7%	28,900	11.6%	-3,184	-9.9%
計	273,610	100.0%	250,000	100.0%	-23,610	-8.6%



主な増減のポイント

「**情報機器**」:米国製携帯型音響機器やセキュリティー関連商品の拡販などより、前年同期比 + 3,403百万円 (+5.1%)。

「**EMS**」:国内遊技機器向け液晶ユニットや海外事務機器向け基板の受減少により、前年同期比 - 9,465百万円 (-12.2%)。

「**半導体**」:国内遊技機器メーカー向けおよびデジタルAV向け半導体の取扱高減少などにより、前年同期比 - 6,637百万円 (-10.7%)。

「**一般電子部品**」:景気低迷による受注減少やEMSへの売上計上の振り替えなどにより、前年同期比 - 7,724百万円 (-21.40%)

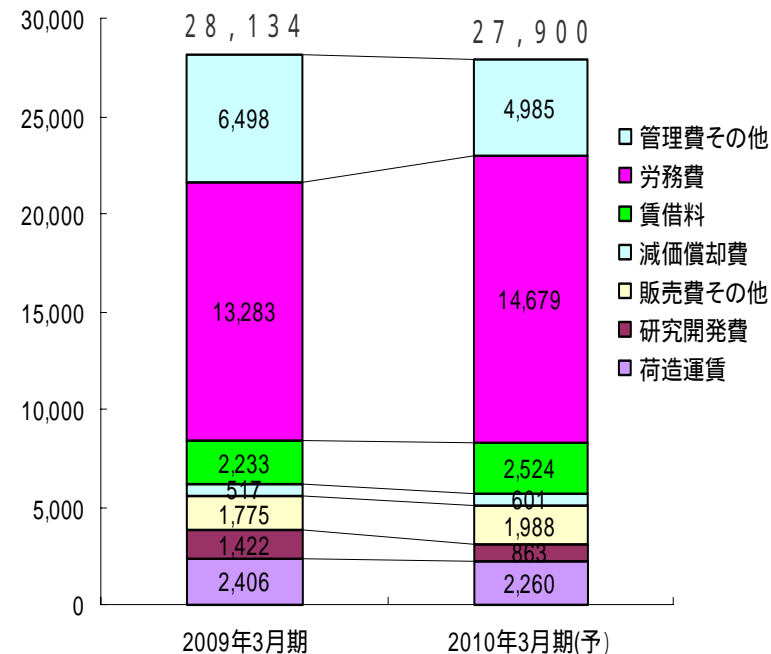
「**その他**」:写真関連商材の需要減や映像著作権ビジネスの減少などにより、前年同期比 - 3,184百万円 (-9.92%)

・ 販売管理費の状況（2009年3月期及び2010年3月期計画）

販売管理費増減比較表

(単位:百万円)

	2009年3月期		2010年3月期(予)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
荷造運賃	2,402	8.5%	2,260	8.1%	-142
研究開発費	1,422	5.1%	863	3.1%	-559
その他	1,779	6.3%	1,988	7.1%	209
販売費計	5,603	19.9%	5,111	18.3%	-492
減価償却費	517	1.8%	601	2.2%	84
賃借料	2,233	7.9%	2,524	9.0%	291
労務費	13,283	47.2%	14,679	52.6%	1,396
その他	6,497	23.1%	4,985	17.9%	-1,512
管理費計	22,530	80.1%	22,789	81.7%	259
販管費合計	28,134	100.0%	27,900	100.0%	-234



主な増減のポイント

販売費: 研究開発費 エスアイエレクトロニクスにの開発費の減少などにより、前期比559百万円減少。

管理費: 労務費 前期比1,396百万円増加。

増加要因: 加賀電子における新入社員の増加分や昨年度グループ会社となったADMなど4社分の通期連結計上などのため増加。社員数: 前期比294名増加(4,494名 4,788名)

当期のトピックスについて

- 1．EMS工場の拡充
- 2．環境関連商品の展開
- 3．経営理念の明文化

背景 お客様のEMS企業へのニーズがレベルアップ

アプリケーションの多様化・・・最新生産ライン設備の導入
多品種小ロットへの対応

更なるコストダウン要請・・・集中購買による部品コストの低減

品質向上への要請・・・不良率シングルPPMへの対応

環境問題への配慮・・・RoHS規制、REACH制度への対応

ジャストインタイムへの対応・・・物流・サポート体制の構築

技術力の強化・・・技術者による不良解析およびコストダウンの提案



自社工場の設立により、柔軟な生産体制の構築

当期のトピックス ~ EMS工場の拡充 ~

主な海外EMS工場



華東エリア・・・自社工場 1 協力工場 2
 華南エリア・・・自社工場 3 協力工場 4
 東南アジア・・・自社工場 2 協力工場 1
 欧州エリア・・・自社工場 1



当期のトピックス ～ EMS工場の拡充 ～

港加賀電子有限公司の拡張移転

港加賀電子有限公司（中国華南エリア）

- ・1999年設立の加賀電子初の自社工場
- ・加賀香港の100%子会社。華南エリア工場を中心

移転のメリット

顧客メーカーからの対応可能アプリケーションの拡張ニーズに対応

- ・製造対応力の向上 高密度実装、完成品組立、少量多品種、大量生産まで柔軟に対応
- ・品質管理体制の強化 車載対応レベルの品質管理を実現。SMT工程のクリーンルーム化
- ・環境管理体制の構築 RoHS規制、REACH制度への対応。有鉛ラインの完全隔離など

< 港加賀電子有限公司 >

住所：中華人民共和国深圳市

工場面積：20,400㎡

ライン：SMT14ライン PCB組立7ライン

従業員数：700名

取得承認：ISO14001、9001、2000、
TS16949、など



新規設備を増強による対応可能製品の拡大 売上拡大

当期のトピックス ~ EMS工場の拡充 ~

加賀沢山電子(蘇州)有限公司を設立

加賀沢山電子(蘇州)有限公司(華東エリア)

- ・2009年、加賀上海の子会社の自社工場として設立。
- ・華東エリア工場の中心拠点として期待。
- ・同エリアでは、外注工場で生産対応していたが、
加工費を抑えられず コスト削減も限界に。

< 加賀沢山電子(蘇州)有限公司 >

住所: 中国江蘇省蘇州

工場面積: 4,300m²

ライン: SMT3ライン PA3ライン

従業員数: 200名



自社工場設立のメリット

- ・従来間接的であった「品質管理」「納期管理」を直接管理 高品質・高付加価値生産を実現
- ・外注工場による「加工賃コスト」を削減 コスト競争力の向上
- ・輸出加工区内に設立 中国国内での調達部品の増値税(VAT)が免除
集中通関による 顧客の生産にあわせた物流が可能

高付加価値製品の生産と輸出加工区のメリットを活かし、柔軟な対応を図る

当期のトピックス ～ EMS工場の拡充 ～

KDTECS.R.Oを設立

KDTECS.R.O (チェコ)

- ・2009年、欧州地域の自社工場として設立。
- ・日系電子機器メーカーの生産拠点の変化
アジアから欧州への移管が増え、需要増。

< KDTECS.R.O >

住所: チェコ共和国

工場面積: 6,700m²

ライン: ユニット組立ライン × 5

従業員数: 49名



自社工場設立のメリット

- ・日系メーカーの現地生産・現地納入のニーズに応える
ビジネスの安定化を強化
- ・欧州エリアでEMSニーズに応え、その他のアプリケーションへも対応

欧州エリアにおけるEMS拠点として基盤を築く

当期のトピックス ～ 環境関連商品の展開 ～

環境関連商品のニーズ増加 地球温暖化への意識向上・コストメリット

環境関連商品の展開

背景

- ・世界的な地球環境への危惧 各国による温暖化ガスの削減目標
- ・コストメリット 従来品に比べ「消費電力」や「耐久性」などにメリット

新規開発室を中心に、加賀電子グループを挙げて、環境関連ビジネスを推進

1. LED照明

- … 低消費電力・高寿命 コンビニエンスストアや飲食チェーン店へ



2. 太陽光発電

- … 自家発電による光熱費の削減 一般企業からご家庭へ



3. 省エネシステム

- … 照明、空調を自動制御 アミューズメント施設へ



経営理念

『すべてはお客様のために』

行動指針

『F・Y・T』

F・・・Flexibility（柔軟）

Y・・・Keep Young（若さ）

T・・・Try（挑戦）

市場の変化やニーズに柔軟に対応し、
人間尊重による全員経営で果敢に挑戦し続け、
エレクトロニクスの総合商社として社会に貢献します。



加賀電子株式会社

〒101-8629

東京都千代田区外神田3-12-8

住友不動産秋葉原ビル

問合せ先: 広報室

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3254-7133

E-mail: webmaster@taxan.co.jp

<http://www.taxan.co.jp>